

KAVC CINEMA

「枝葉のこと」

世界から絶賛された新しき鬼才、二ノ宮隆太郎が
監督・主演で描く、現代の家族像と郊外に生きる若者の日常。

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、KAVC CINEMAにて「枝葉のこと」を上映する運びとなりました。

本作品は、『魅力の人間』が第34回ぴあフィルムフェスティバルで準グランプリを受賞し、海外映画祭でも注目を集めた新鋭・二ノ宮隆太郎の劇場公開デビュー作であり、監督自身の実体験を基に作り上げた独創的な「私小説的」映画作品になります。事実とフィクションを巧みに織り交ぜ、監督自らが身も心も全て曝け出して創り出された本作は、郊外に生きる若者の行き場の無い暴力衝動、そして現代の家族像を鮮明に切り取り、力強い普遍性を獲得しています。上映初日の6月9日（土）上映終了後には、二ノ宮隆太郎監督による舞台挨拶を行いますので、この機会にぜひご参加ください。

つきましては、本作をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、ご掲載のご検討を頂けますようお願い申し上げます。また、ご取材の調整もさせていただきますのでご希望の際はお知らせ下さい。何卒宜しくお願い致します。

あらすじ：横浜の自動車整備工場で働く隆太郎は、関わること全てに諦念を抱く無気力な男。誰にも心の内を語らない隆太郎は、周囲からも変わり者扱いされている。そんな折、幼馴染の裕佑から1本の電話が入る。「うちの母ちゃんが会いたがっている」裕佑の母・龍子は肝臓がんで余命数日に迫っていた。

6歳で母親を亡くし、幼少期に龍子に世話になっていた隆太郎は、龍子に会いに行くことを決める。

隆太郎の抱える強い焦燥感はやがて、幼少期に母親代わりだった友人の“おばちゃん”、そして実の父親への深い愛憎に繋がっていく。

「枝葉のこと」(2017年/日本/114分)

配給：九輪家

監督：二ノ宮隆太郎

出演：二ノ宮隆太郎、矢島康美、松本大樹

木村知貴、廣瀬祐樹 他

上映時間：※初日上映終了後、舞台挨拶あり

6.9 (土) -10 (日) 12:10

11 (月)、13 (水) -14 (木) 18:50

15 (金) 12:10

6.16 (土) -17 (日) 14:30

18 (月)、20 (水) -21 (木) 15:20

22 (金) 14:30

料金：一般1700円、学生1400円、シニア1100円

※かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり



©Kurinke

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター (担当 大泉)

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356